

次世代燃料電池産学連携研究施設

本施設は、次世代型燃料電池に集中的に取り組む九州大学と開発企業との緊密な産学官連携により、次世代型燃料電池の開発・早期実用化を可能とする産学連携拠点として、経済産業省のイノベーション拠点立地支援事業に採択された施設です。

大学の基礎研究から産業界の実用化までのシームレスな体制の構築により、次世代型燃料電池の創出と実用性を加速させることを目標にしており、平面計画は、研究者間の学際的な交流に促すため、研究室、実験室等や、共用部の有機的連続性に配慮している。

敷地：福岡市西区大字元岡 744 番地
(伊都地区)

延べ床面積：4,059 m² (新築)

建築面積：1,093 m² (新築)

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
(一部鉄筋コンクリート造(ボンベ庫))

階数：地下1階・地上4階建(一部平屋(ボンベ庫))

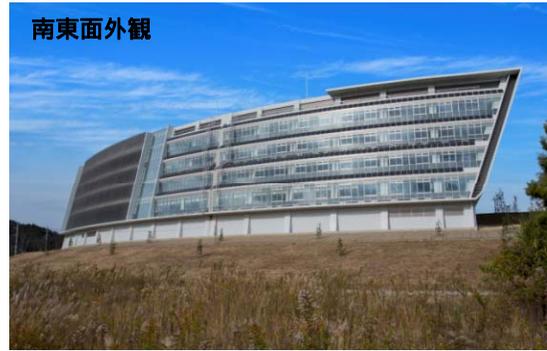
設計：九州大学施設部 建築-(株)梓設計 九州支店
電気-(株)総合設備設計
設備-(株)総合設備設計

施工：建築-安藤建設(株) 九州支店
電気-(株)九電工 機械-ダイダン(株) 九州支店

工期：平成 23年 10月～平成 24年 11月



外観



内観

